

松禪寺報

石室山 松禪寺

住職 高橋 乾峰

〒 668-0363

兵庫県豊岡市但東町栗尾 469

電話 0796-55-0034

FAX 0796-55-0066

Mail kenpou@syozen.com

第 115 号

<https://syozen.com>

<https://www.facebook.com/syozenji>

発行日 令和 7 年 9 月 25 日



忘れもの

高田敏子

入道雲にのって
夏休みは
いつてしまった
「サヨナラ」のかわりに
素晴らしい夕立を
ふりまいて
けさ 空はまっさお
木々の葉の一枚一枚が
あたらしい光と
あいさつを
かわしている
だがキミ！夏休みよ
もう一度
もどってこないかな
忘れものをとりにさ
迷い子のセミ
さびしそうな
麦わら帽子
それから ぼくの耳に
くっついて離れない
波の音

山寺に詣る手筈や盂蘭盆会（英州）

初盆と先祖供養、有縁無縁の霊を供養する施餓鬼会厳修

今年もより厳しい猛暑が連日続いた夏、そんななか施餓鬼会を8月7日（木曜日）午前10時より執り行いました。法要には瑞泉寺住職、副住職様（和田山町）、楊岐院住職、副



▲猛暑の中、汗を流しながら施餓鬼法要に臨みました

住職様（豊岡市）、東源寺様（夜久野町）の和尚様方5人、住職と兄（徒弟）が出頭して厳修いたしました。今年は9霊位の初盆施餓鬼のほか、檀信徒各家の先祖供養、栗尾養鶏組合の鶏魂供養を例年どおり行いました。扇風機しかない本堂で皆さん汗びっしょりだったと思いますが、熱中症予防にと参拝者全員にペットボトル茶を差し上げました。

仏は心のよりどころ 先祖は身体のよりどころ



これまでコロナ禍や大荒れの天候など法要の妨げはいろいろありましたが、初盆の霊位とともに各家のご先祖様、有縁無縁の霊をも供養するのが施餓鬼会です。初盆ではないから関係ないと思うのではなく、大事な先祖供養の法要ですので、ぜひ来年はどなた様もご参りください。

うら盆やお墓の方を枕かな（一茶）

送り火（坂村真民）

お父さん

お母さん

ことしのお盆は

よいお盆でした

お墓まいりはできませんでした

善通寺高野山とおまいりして

御冥福を祈ってきました

子供たちも大きくなりました

梨恵子も来年はどこかの大学に入り

大学生となりました



▲ 8 月 13 日と 16 日は境内と霊園に明かりを灯しました



▲「お墓の方を枕かな」＝墓の方角に特別な感情や思いを寄せること。

一年一年と大きくなってゆくのを楽しみに
来年も飛んでお出でください

茜ちゃんも

父さん母さんのあけくれをよく見て

わたしたちを守ってください

これといって特別の御馳走も

できませんでしたが

心から送り火を

みんなでたきます

では来年まで

さようなら

さようなら

猛暑のなが第 2 回境内掃除

ご協力ありがとうございました



お盆も間近に迫った 8 月 3 日（日）、今年
2 回目となる境内掃除を行いました。猛暑日
の中、午前 8 時から 10 時までの 2 時間、草刈
りなどの作業に精を出して頂きました。ま
た、本堂ガラス戸の掃除も行っていました。

今回協力してくださったのは、総代（責任
役員）さん 6 人をはじめ、清滝、本城、柴地、
大貝、佐田、石原、久畑の各評議員さんと有
志の総勢 16 名の皆さんでした。お陰様で 8 月
7 日の施餓鬼会には、参拝者皆さんを気持ち
良くお迎えすることができました。有り難う
ございました。

境内掃除を終えてからは、総代さん方で施
餓鬼会の準備として、本堂中央に卓を設置し、
外には施餓鬼棚を組み立てていただきました

達磨忌と開山忌のご案内

11 月 3 日（文化の日）

来る11月3日、松禪寺では左記のとおり達磨忌と開山忌を営みます。達磨大師は、禅宗の開祖です。松禪寺は来翁祖諱和尚大禪師を開基として、禅師の師である一笑禅慶和尚大禪師を勧請開山としています。ぜひお参りください。

記

とき 11月3日（月／文化の日）

午前8時30分より当番の調理開始

午前11時より法要

正午より斎座

場所 松禪寺本堂

護持会

会費（後期）の

納入にご協力願います

9月は松禪寺護持会費の通常会費（後期分）をお願いする月です。松禪寺花園会は檀信徒の皆様方の、護持と発展を願う護持会費で運営しています。各評議員さんより納入の依頼がありますので、何卒ご協力の程よろしくお願いいたします。遠方の皆様には郵便局の払込取扱票をお送りいたします。

なお、賛助会員の方々へは本年2月に納入依頼済みですので、後期分の請求はございませんが、未納の方は納入の程よろしくお願いいたします。

【俳句】

倒れたる稲に雨なほ降注ぐ
胆冷やす暗夜行路に鹿啼きて
寝転びて野分の声を聞く夕べ

句集『五月晴』著者・水縄松生

復員の港なつかし秋の海
秋立つや佇たせまいらす野の佛
寺高し見渡すかぎり稲の出来

先住・高橋英州

おりおりのくらし
雨奇晴好

生きるもよし
転ぶもまたよし
達磨さん
七転び八起きは
人の一生

【短歌】

名月も母も高きにありにけり
農夫皆亡き父に見ゆ刈田かな
梨を剥く間に心ととのへる

太田弘美 つくば市

新米の荷に添えられし父の文
ふるえる手ゆえ震える文字で

緋の色となりし巾着田に立てば
吾も染まりゆく曼珠沙華いろに

太田弘美 つくば市

【川柳】

誤飲した妻の薬がなぜか効く
未登記に曾孫玄孫も馳せ参じ
控えめに先輩超えるネタ披露

中島英三 三木市

